

加盟員が少くてもスカウトの質は上げよう！！

新藤 信夫

*** 加盟員が減少しているだけでなく、スカウトも指導者も質が落ちていませんか？？**

1、「ちかいとおきて」の実践につとめる（集会時に唱えなくなっているのでは??）

- ① 入隊・上進時は、集会の時にいつも唱えるようにして、**まずおぼえることに重点をおく。**
門前の小僧、習わぬ教を読むで良いと思う・・・（ちかいは一度言えば良いのではない??）
- ② 覚えられるようになったら意味を知る、日連発行の**「おきて指導の手引」**を有効活用する。
- ③ 団や隊も、地区、県連などの行事に於いても**公共奉仕や地域社会へ貢献**できるものを計画する（日々の善行の機会を与える様に、**「ちかいとおきての実践」**に繋げるようにする。
- ④ **公共奉仕（ちかいの実践）**を行う事でスカウト達に**シチズンシップ（市民性）**を養わせる。
コミッショナーのアクションプランにあるように、単純に奉仕活動を行うのではなく想定文などを作って**楽しい活動の中で「日々の善行」を行わせるようなシナリオを作り展開する。**
- ⑥ 宗教を持つこと、信仰の奨励を行うことなども推進していかなければならない。

2 班制度とその活用について

- ① **班活動**は、スカウト活動の特色なので、スカウト活動の基本としてしっかり実施できるようにしたい。**班長教育、仲間との協調性、異年齢の共同生活、班競争、などなど・・・**
- ② 隊の人員が少ないので、**隊長が全てを仕切ってしまうのでは班制度の目的が達成できない。**
隊長が班長になっていることが多いので、1ヶ班でも班員の役割を明確化にすること。
- ③ 極力標準の班編成で活動できるように隊長や、団委員長の責任で達成する努力をして欲しい。**隊としては最低2ヶ班編成の以上で活動**をしないと**班制度の効果**が出にくい。
- ④ 2ヶ班実現までの間は、近隣の隊と合同で班集会、隊集会を実施する工夫を地区コミッショナーと相談しながら進めてはどうですか。（暫定処置）
- ⑤ **班活動の中で、「挨拶や基本動作」**などスカウト活動のベースになることを確り覚える。
- ⑥ 日連の登録制度にも課題があったので30年度から一部改訂が実施されます。

3 指導者養成体系の改定を行いました。（日本連盟、県連盟、ディレクターなど）

- ① **「野外活動が確りできる指導者を養成する」**ことを命題にこの数年検討を重ね、25年度より指導者養成体系を全面的に改正実施をはじめた。（指導者訓練の更新制度など検討中）
- ② 29/4より**隊指導者基礎訓練課程改定**や**ウッドクラフトコースの実験・検証**も進めた。
- ③ 上級訓練課程は、**隊指導者には楽しいスカウト活動ができる様にプログラムトレーニングを中心に、団委員訓練では管理者としてのマネジメントトレーニング**を実施し、訓練体制の充実を図る。
- ④ 研修所、実修所などの集合訓練のほか、**スキルトレーニング、安全セミナー、**などの個別研修のほか、**諸先輩方による長年の経験値を日常生活やスカウト活動の中でインサービスサポート（指導者への任務中の支援）としてOJT教育**をしていく事が最も大切である。
- ⑤ スカウト運動の知識・技能などの**スペシャルセンス**と**管理者としてのマネジメントスキル**に**人格者としてのコモンセンスのバランス**がとれた指導者を養成したいので本人も自覚されたい。
- ⑥ **安全かつ冒険的、躍動的なプログラム**を推進でき、**スカウティングの魅力**を社会的に示すことのできる**指導者養成**を行い**会員拡充**に努めていただきたい。（広報活動の実践）
- ⑦ **ボランティア活動**とはいえ**スカウト活動は社会教育の一貫である情熱**を持って**取組むこと**
- ⑧ スカウト達には**礼儀・規律・基本動作**などの**基本的なところ**を入隊時に**しっかり指導**する。